

研 究 所 彙 報

— 1991.1 ~ 1991.12 —

編著書・論文

〔有菌正一郎所員〕

「豊川流域のヒガンバナ流域に関する補説」『愛知大学文学論叢』96輯, 1991年3月20日, (農耕の技術14に再録, 1991年11月15日)

『日本の農業生産の地域性と変化』(『日本の農業地域システム』所収) 大明堂, 1991年6月15日

〔印南敏秀所員〕

「奉納物をめぐる時間」『悠久』44号, 桜風社, 1991年1月,

「アユモチオケの語り」『民具マンスリー』23巻12号, 神奈川大学日本常民文化研究所, 1991年3月

「キダシ木村米吉翁(-)」『水104°』2号, 水の文化研究会, 1991年3月

「住吉信仰から金毘羅信仰へ」『海と列島文化の瀬戸内の海人文化』小学館, 1991年3月

〔江口圭一所員〕

『十五年戦争小史新版』青木書店, 1991年5月25日

『証言・日中アヘン戦争』(岩波ブックレット) 岩波書店, 1991年8月2日

『1941年12月8日—アジア太平洋戦争はなぜ起ったか』(岩波ジュニア新書) 岩波書店, 1991年11月20日

〔交野正芳所員〕

「名古屋都市圏の拡大と地域の再編」愛知大学中部地方産業研究所編『都市近郊地域の経済と社会』所収, 1991年3月

「福祉と病理のマージナリティをめぐって」『地方中核都市の社会病理に関する学際的研究』1990年度科学研究費補助金(総合研究A)研究成果報告書, 研究代表者白沢久一 所収, 1991年3月20日

〔木下忠所員〕

編著『竹と民具』雄山閣出版, 1991年10月20日

編著『燈火今昔』信濃毎日, 1991年10月20日

〔沓掛俊夫所員〕

『中部地方土木地質図解説書』(共著) 国土開発技術研究センター, 1991年9月25日

「琵琶湖周辺の花こう岩質岩体—その3. 花こう岩類の微量元素含有量—」(共著) 「地球科学」45巻, 1991年9月25日

A Cretaceous continental margin plutonism — the Older Ryoke granitoids, southwest Japan. Abstracts of papers, VII Soviet-Japan Symposium “Geological evolution and the structure of the Asian Continent of the Pacific” 1991年7月22日

「リンネの『結晶の成因について, De Crystallorum Generatione, 1747』の紹介」『一般教育論集』(愛知大学教養部) 第4号, 1991年5月31日

〔斎藤勇所員〕

『東海地方における被差別部落民の運動(2)』『愛知大学総合郷土研究所紀要』第36輯, 1991年3月

[田崎哲郎所員]

「地方知識人をどう把えるか—三河を例に—」愛知大学総合郷土研究所編『近世の地方文化』収, 1991年2月

(史料紹介)「渥美郡山田村泉福寺から叡山宛書簡」愛知大学総合郷土研究所紀要36輯, 1991年3月

(書評)衣笠安喜『近世日本の儒教と文化』史学雑誌100の6, 1991年6月
戸沢行夫「明六社の人びと」史学雑誌100の11, 1991年11月

[藤田佳久所員]

『浜松・豊橋地域の展開と両地域の連関に関する研究』愛知大学中部地方産業研究所, 1991年3月

“Problems in the Development of the Forest Resources in Japan.” 愛知大学文学論叢96, 1991年3月

『奥三河東栄町における入会出郷の形成と生きている「化石の村」』愛知大学総合郷土研究所紀要第36輯, 1991年3月

土地利用の再編成と農業の変容,『都市近郊地域の経済と社会』所収, 愛知大学中部地方産業研究所, 1991年3月

波多野養作の中国・西域踏査旅行について—東亜同文書院の中国調査旅行実施への契機となった踏査旅行記録から—愛知大学国際問題研究所紀要94, 1991年5月
近世飛驒の森林資源と林業『東山道の景觀と変貌』所収, 古今書院, 1991年7月
林野植生と林野利用の初期条件—中部日本の明治期を中心に—『近代化による環境変化』収収, 立正大学地理学教室, 1991年2月

The Change of Forest Land Use since the Meiji Era in Japan, “Environmental Change and GIS.” 立正大学地理学教室, 1991年8月

[間瀬惇所員]

資料翻刻, 刑部家旧蔵『説教記録』(ハ),

愛知大学短期大学部「研究論集」第14号, 1991年10月30日

[吉野正敏所員]

(論文)「地球環境と人間活動」ケミカルエンジニアリング36巻1月号21—25, 化学工業社, 1991年1月

「東アジアの気候変動」世界地法ゼミナール1, 65—77, 大明堂, 1991年1月

(論文)「地球環境の変化と気象災害, 災害の研究」22号, 34—45, 損保選定会, 1991年3月

(訳)「大高原が地球を冷やした」日経サイエンス, 21巻53, 23—31, 日経, 1991年5月

(論文)“Development of urban climatology and problems today. Energy and Building.” Elsevier Secoia, 1991年5月

“Impact of climatic change on agriculture from the viewpoint of East Asia. In : The Global Environment. 16-41, Springer Verl. Berlin, 1991年11月

[大磯義雄所員]

「尾三の天明俳壇を歩く」日本古書通信, 第56巻第8号, 通巻745号, 日本古書通信社, 1991年8月15日刊

翻刻『笠やどり』(1)―(4), 若竹, 1991年9月―12月, 若竹吟社, 713号―716号

[小澤耕一所員]

『華山年譜』財団法人華山会発行, 1991年3月10日, 太陽印刷所製

[久曾神昇所員]

『藤原定家筆古今集』(複製本)汲古書院, 1991年5月

『書聖小野道風』(共著)春日井市道風記念館, 1991年11月

『本能寺切千五百番談合』汲古19号, 1991年6月

『麗花集集録稿』国書漢籍論集, 1991年

8月

『仮名古筆』(12), 汲古20号, 1991年12月
〔黒柳晴夫所員〕

「インドネシアで農村調査を行うには」
村落社会研究会『研究通信』第163号, 9
—12頁, 1991年1月20日

「ジャワの農村に暮らして」愛知学院大
学『学問の散歩道』第4号, 24—29頁,
1991年3月31日

“Research Note on The Social and
Economic Life of Village People in
Central Java” The Indonesian Journal
of Geography, Vol. 20, No. 60, pp.41-
56, Gadjah Mada University. Indone-
sia. 1991年6月

“Source of Livelihood and Mutual
Help Credit and Saving Systems in
Two Villages of Yogyakarta Special
Region” (Presentation paper at the
Second Country Seminar of Regional
Development planning of Yogyakarta,
pp.17) 1991年9月3日

〔巽俊雄所員〕

「三河目代松平念誓と朱印継承子孫の松
平甚助家」『岡崎市史研究』第13号,
1991年3月

「江戸初期の西三河の村落構成」西尾東
高校『のぼり路』1991年6月

『愛知県姓氏歴史人物大辞典』(岡崎市)
角川書店, 1991年11月

〔千葉徳爾所員〕

『我孫子市史 民俗・文化財篇』(共著) 我
孫子市教育委員会, 1990年3月31日

『福岡市史第四巻資料篇II』(共著) 福岡
市教育委員会, 1991年8月20日

『たゝかひの原像—民俗としての武士道
—』平凡社, 1991年6月12日

『柳田國男を読む』東京堂出版, 1991年
6月20日

(論文)「流域」の思考, そしえて, 21,

3号, 1991年4月25日

民俗調査における「ききとり」について,
長野県民俗の会会報14号, 1991年9月25
日

『野外研究とききとりの方法について』
「社会科」学研究21号, 1991年12月20日
(予定)

『狩猟・たたかい・戦争』月刊百科349
号, 1991年11月1日

〔津之地直一所員〕

『三河アララギ』第38巻第1号, 1991年
1月から12月まで毎月連載

「万葉詞林逍遙(273—284)・古語と誤
り易い仮名遣い(14—25)」, 1991年1月
から12月まで毎月連載

〔堀井令以知所員〕

La langue de kyoto(Essays in honor
of professor Haruo kozo 所収) 関西
外国語大学刊, 1991年4月1日

「日本語の由来」(『日本語学』5月号所
収) 明治書院, 1991年5月10日

「職人ことばの世界」(『関西外国語大学
研究論集』54号所収) 関西外国語大学,
1991年7月31日

「オタメという語について」(『関西外国
語大学民俗学談話会ニューズレター』第
7号) 関西外国語大学, 1991年10月10日

「住居語彙の語源」(『語源探求』第3集
所収) 明治書院, 1991年10月30日

「亭主」と「主婦」を意味する語の語源
(『語源研究』20号) 日本語語源研究会,
1991年12月8日

〔松下智所員〕

『日本名茶紀行』雄山閣出版, 1991年8
月20日

『中国食物事典』田中静一編, 柴田書店,
1991年7月1日

学会および研究会報告

〔歴史地理学会〕1991年6月1日「農書の

フィールドにおける近世以降の主要作物
構成の推移からみた地域性の考察」

〔人文地理学会〕1991年11月10日「近世末
の土地利用図の作成と分析」

有藺正一郎

〔日本地質学会第98年学術大会〕（愛媛大
学）1991年4月5日「琵琶湖週辺の花こ
う岩類の微量元素含有量」

沓掛 俊夫

〔洋学史学会〕1991年12月8日、シンポジ
ウム「洋学史の課題と展望」於、順天堂
大学

田崎 哲郎

〔歴史地理学会〕1991年6月2日、日大文
理学部「林野利用からみた東北日本と西
南日本」

〔環境問題講座〕1991年6月7日、「林業・
森林と社会的空白地域」

〔奈良大学地理学科同窓会〕1991年6月23
日、「村でない村の話」

〔飯田線沿線活性化懇談会〕1991年8月21
日、「三遠南信県境ゾーンのネットワーク
化」

“International Symposium of Environ-
mental Change and GIS, The Change
of Forest Land Use since the Meiji
Era in Japan.” 1991年8月27日

〔日本地理学会公開シンポジウム〕1991年
10月2日、「高齢化・過疎化・定住化—全
国の動向から—」

〔私情協電算機センター等部門別研修会〕
1991年10月16日、「愛知大学における情報
処理センターの運営と課題」

〔人文地理学会大会〕1991年11月10日、「奥
三河山村の形成と生きている「化石の村」

〔愛大・中国研究科設置記念会〕1991年11
月12日、「東亜同文書院生の中国旅行記か
らみた中国」

〔愛知県木材育壮年団体連合会大会〕1991
年11月23日、「森林資源と自然環境」

〔愛知県高校理科教育研究会〕1991年11月

27日、「森林資源と社会的空白地域」

〔奥三河ビジョンフォーラム〕1991年11月
29日、「第二東名、三遠南信高速道路の開
通と奥三河—地理学の視点から—」

〔経済地理学会中部支部例会〕1991年12月
7日「豊橋・浜松地域の展開と両地域の
連関分析—県境ゾーンの分離と統合—」

藤田 佳久

〔日本語研究会〕1991年4月13日「ご飯を
炊く—日本語の論理—」

〔日本語研究会〕1991年8月10日「機と器
—日本語のゆれ—」

間瀬 惇

〔国連地域開発センター主催、第2回ヨグ
ヤカルタ開発計画セミナー〕（インドネ
シア）1991年9月3日～6日，“Source
of Livelihood and Mutual Help
Credit and Saving Systems in Two
Villages of Yogyakarta Special
Region”

黒柳 晴夫

〔西三河高校社会科研究会〕1991年6月18
日、「江戸時代における矢作川水系での洪水」

巽 俊雄

〔人間と動物との靈魂観の成立研究会〕
1991年10月29日、「日本人の動物観—動物
霊の認識—」

「日本人とクマ ユロキウム“クマ”—
1991—, 1991年7月12日

「六甲山の自然と人とのかゝわり」シン
ポジウム, 1991年2月3日

千葉 徳爾

現地調査

〔ヒガンバナの自生面積補足調査〕1991年
9月21日—28日、豊川流域および渥美半
島

〔人力犁調査〕1991年11月15日、岐阜県可
児市久々利

有藺正一郎

〔三宅島生態調査〕1991年3月26日－29日
三宅島（東京都三宅村） 市野 和夫
〔金毘羅講社調査〕1991年2月5日－10日，
香川県仲多度郡琴平町
〔水の文化調査〕1991年2月22日－27日，
島根県邑智郡桜江町
〔石風呂調査〕1991年3月3日－5日，山
口県大島郡東和町
〔温泉調査〕1992年3月24日－31日，大分
県別府市鉄輪
〔水の文化調査〕1991年5月1日－5日，
島根県邑智郡桜江町
〔金毘羅講社調査〕1991年7月13日－16日，
香川県仲多度郡琴平町
〔石風呂調査〕1991年8月1日－6日，山
口県大島郡東和町
〔檜川村民俗調査〕1991年8月11日－18日，
8月30日－9月4日，11月7日－11日，
長野県木曽郡檜川村
印南 敏秀
〔社会学科調査実習調査〕1991年10月4日
－7日，静岡県浜松市
交野 正芳
〔比良花こう岩体の地質調査〕1991年8月
18－20日，滋賀県比良山
〔琵琶湖周辺花こう岩類の地質調査〕1991
年8月26－29日，滋賀県南部
〔領家花こう岩の地質調査〕1991年10－12
月中の6日間，愛知県豊根村，富山村，
田口町地域
沓掛 俊夫
〔中国における種痘法の普及について〕
1991年1月－10月10日，天津，北京，上
海
田崎 哲郎
〔東亜同文書院中国調査旅行関係調査〕
1991年3月，4月，5月，9月，10月，
11月，東京，神奈川ほか
〔三遠南信県境ゾーン調査〕1991年3月，
8月，9月，10月，奥三河，北遠，南信

一帯
〔奥三河山土地利用調査〕1991年6月，7月，
12月，設楽町，豊根村
〔林野利用調査〕1991年6月，8月，11月，
12月，富山県，島根県ほか
〔奈良県榛原町調査〕1991年1月，2月，
奈良県榛原町
〔タイランド林野調査〕1991年7月，8月，
タイランド
藤田 佳久
〔地理学的地理利用調査〕1991年11月27日
－30日，長野県小県郡真田町菅平
吉野 正敏
〔国連地域開発センターヨグヤカルタ特別
州農村調査プロジェクト〕1991年1月19
日－2月4日，8月30日－9月7日，イ
ンドネシアヨグヤカルタ特別州
〔村と祭〕1991年11月17日－18日，12月14
日－16日，北設楽郡豊根村・富山村，豊
橋市
黒柳 晴夫
〔伊豆半島観光地東西両岸の対比研究〕
1991年2月17日－18日，同行1人，伊豆
半島
〔地理学者三沢勝衛の研究〕1991年2月24
日－26日，同行なし，長野県諏訪盆地
〔西南戦争史料調査〕1991年3月4日－8
日，同行なし鹿児島市
〔西南戦争史料調査〕1991年3月4日－8
日，7月31日－8月8日，同行1人，鹿
児島・熊本両県下
〔戊辰戦争資料調査〕1991年8月31日－9
月4日，学生5人，会津盆地，鶴岡市
〔野獣被害記録調査〕1991年9月18日－21
日，学生3人，金沢市，白峰村
千葉 徳爾
〔韓国旅行で慶州及び京城の古跡見学踏査〕
1991年5月23日－26日
〔解釈学会東海支部で三河・引馬野現地踏
査〕（広石・西浦等），1991年6月16日

〔女子短大ゼミ旅行で、高岡の万葉歴史館
を見学〕1991年8月29日－31日

〔万葉学会の旅行で、醒ヶ井・伊吹山見学〕
1991年10月28日

〔伊勢三河の海めぐりにて答志島の現地を
踏査説明に当る〕1991年11月3日

津之地 直一

〔ティーロード調査〕1991年5月22日－6
月12日，中国陝西省，湖北省，江蘇省，
浙江省

松下 智

(5)歴史的景観から地域像をたどる
足利健亮氏（京都大学）

〔Ⅱ〕討論

〔Ⅲ〕懇親会

講演会

〔近世三河の俳諧〕

「岡崎の俳諧」清水孝之氏

（愛知県立芸術大学）

「吉田の俳諧」藤井 隆氏

（名古屋市立大学）

「三河の雑俳」鈴木勝忠氏

（中京大学）

日時 1991年3月16日(土)午後1時から5
時

場所 愛知大学豊橋校舎記念会館小講堂

シンポジウム

メインテーマ「景観から地域像をよむ」

－現代地域透視術と地域システム－

日時 1991年7月7日(日)

場所 愛知大学豊橋校舎記念会館小講堂

〔Ⅰ〕論題

午前の部

(1)空中から景観のシステムをよむ

香月洋一郎氏（神奈川大学）

(2)記録写真から地域を視る

石井 實氏（立正大学）

午後の部

(3)風水思想から地域環境システムを解く

目崎茂和氏（三重大学）

(4)地名のなりたちから地域性をさぐる

鏡味明克氏（三重大学）

1991年度研究所組織〔所 長〕 藤田 佳久

〔所 員〕	有蘭正一郎	市野 和夫	稲垣不二麿
	井野口 孝	印南 敏秀	江口 圭一
	交野 正芳	木下 忠	沓掛 俊夫
	黒柳 孝夫	見城 幸雄	斎藤 勇
	沢井 耐三	杉本 一郎	田崎 哲郎
	玉井 力	樋口 義治	樋野 芳雄
	福田以久生	藤田 佳久	牧野 由朗
	間瀬 惇	宮沢 哲男	村長利根朗
	吉野 正敏	渡辺 和敏	渡辺 正
	(非常勤所員)		
	安藤万寿男	伊村 吉秀	大磯 義雄
	小澤 耕一	久曾神 昇	黒柳 晴夫
	佐野 賢治	島本彦次郎	鈴木 太吉
〔研 究 員〕	巽 俊雄	千葉 徳爾	津之地直一
	芳賀 陽	堀井令以知	松下 智
	北野 信彦	鈴木源一郎	陶山 宗幸
	遠山 佳治		

〔運営委員〕	(庶務)	有蘭正一郎
	(企画)	杉本 一郎
	(資料)	渡辺 和敏
	(編集)	玉井 力

〔事 務 局〕	竹内さちよ
---------	-------